

政策番号	27	政策分野	くらしの水
------	----	------	-------

基本方針	市民のライフライン（生活線）として重要な水道・下水道は、河川とともに、都市の基盤施設であると同時に琵琶湖・淀川水系における水循環の一翼を担い、流域全体の水環境の保全に大きな役割を果たしている。安全・安心で良質な水道水を安定的に供給する水道、大雨による浸水被害からまちを守るとともに快適で衛生的な都市生活を支える下水道、治水対策を推進し、あわせて都市に親水空間を生み出す河川について、“くらしの水”に関する機能の充実・向上を図りながら、未来の京都に引き継いでいく。
------	--

担当局	上下水道局	共管局	建設局
-----	-------	-----	-----

政策に関係する 主な分野別計画等	京（みやこ）の水ビジョン―あすをつくる―、京都市上下水道事業中期経営プラン（2018-2022）、京都市水共生プラン、京都市河川整備方針
---------------------	--

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成30	令和元	令和2年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	主要管路の耐震適合性管の割合(%)	53	—	-	a	52.8	54.5	54.0	141.7%	a
2	雨水整備率(10年確率降雨対応)(%)	17.4	—	a	a	28.6	29.2	29.2	100.0%	a
3	合流式下水道改善率(%)	66.2	—	-	a	66.2	66.2	67.3	0.0%	e
4	平成16年記録的豪雨時の河川浸水被害箇所解消率(%)	87.6	100.0	a	b	95.5	95.8	97.7	98.1%	d
5	水共生の取組の進捗率(レーダーチャート面積)(%)	163.9	205.1	a	a	188.3	191.9	194.0	98.9%	b
6	異臭(かび臭)のない水達成率(%)	100.0	100.0	-	a	100.0	100.0	100.0	100.0%	a
7	高度処理管理目標水質達成率(%)	100.0	100.0	-	a	100.0	100.0	100.0	100.0%	a
				a	a					b

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成30	令和元	令和2
2701	安全・安心な水道・下水道の構築(3指標)	a	a	a
2702	環境負荷の少ない水道・下水道の構築(2指標)	c	a	c
2703	水道・下水道の機能維持・向上(3指標)	a	a	a
2704	市民ニーズに対応した上下水道サービスの推進(2指標)	a	a	b
2705	上下水道事業の経営基盤の強化・安定(3指標)	a	a	a
2706	水辺環境の整備(1指標)	a	b	d
2707	水共生の取組の推進(5指標)	a	a	a
(7施策平均)		a	a	b

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価:施策の客観指標評価＝1:0.5)	平成30	令和元	令和2
	a	a	b

2－1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		平成30	令和元	令和2※
1	京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。	a	a	-
2	大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。	b	b	-
3	京都の河川は水がきれい、水辺に親しみやすい。	a	a	-
4	水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。	b	b	-
5	京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	a	a	-
6	水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識が高まっている。	b	b	-
政策の市民生活実感調査総合評価		a	a	-

2－2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

平成30年度		令和元年度		令和2年度※	
順位	%	順位	%	順位	%
2	93.7%	2	93.4%	-	-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	A	令和元	A	令和2	B	政策の目的がかなり達成されている
------	---	-----	---	-----	---	------------------

<原因分析>

【客観指標総合評価】

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【市民生活実感調査総合評価】

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【総括】

・新たな京の水ビジョンや中期経営プランに基づき、主要管路の耐震化や浸水対策、河川改修等の「くらしの水」に関する事業を、引き続き着実に推進したことにより、客観指標については概ね目標どおり進捗するとともに、市民の実感も高い評価で推移してきている。
・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価＋市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		平成30	令和元	令和2
2701	安全・安心な水道・下水道の構築	A	A	A
2702	環境負荷の少ない水道・下水道の構築	B	A	B
2703	水道・下水道の機能維持・向上	A	A	A
2704	市民ニーズに対応した上下水道サービスの推進	B	B	B
2705	上下水道事業の経営基盤の強化・安定	A	A	A
2706	水辺環境の整備	A	B	C
2707	水共生の取組の推進	B	B	B

<今後の方向性>

①安全・安心な水道・下水道の構築

・「京都市上下水道事業中期経営プラン(2018－2022)(以下「プラン」という。)」に基づき、水質管理の徹底や最適な浄水処理を推進するとともに、水道・下水道管路及び施設の改築・更新・耐震化を計画的に実施する。また、水道・下水道の事業・防災拠点の整備による危機管理体制の強化や、「雨に強いまちづくり」の実現に向けた浸水対策等の推進を図る。

②環境負荷の少ない水道・下水道の構築

・京都市上下水道事業中期経営プラン(2018－2022)に基づき、高度処理や適切な水質管理により下水処理水質の維持・向上を図る。合流式下水道の改善については、一部の工事において地下埋設物の影響等により進捗が遅れたものの、今年度の目標数値達成に向けて、引き続き貯留管等の整備を進める。また、太陽光発電等による創エネルギー対策や高効率機器の導入などを実施し、温室効果ガス排出量の削減を図る。

③水道・下水道の機能維持・向上

・プランに基づき、水道・下水道管路の適切な維持管理を実施するとともに、基幹施設である浄水場、水環境保全センターの改築・更新・耐震化を計画的に進める。

④市民ニーズに対応した上下水道サービスの推進

・プランに基づき、引き続き現行の料金水準を維持するとともに、お客さまのニーズを把握・分析し、それを反映した新たなサービスを展開する。
・次代を担う子ども達や子育て世代を対象とした広報活動を重点的に展開するなど、対象や媒体(手段)、内容を効果的に組み合わせた体系的な広報・広聴戦略を展開する。また、利き水体験やお風呂の魅力や効能を啓発するワークショップ等の実施、ミスト事業、琵琶湖疏水の魅力発信の更なる展開を通じ、水道・下水道事業のPRに努める。

⑤上下水道事業の経営基盤の強化・安定

・プランに基づき、業務執行体制の効率化による職員定数の削減や、効率的な事業運営による経費の削減、企業債残高の削減を行うとともに、施設のライフサイクルコスト削減や大規模更新に備えた資金確保、保有資産の有効活用等による新たな収入源の確保など、経営基盤強化に向けた取組をより一層推進する。

⑥水辺環境の整備

・工事の実施に当たっての事前調査及び関係機関との調整を十分に図りながら、河川ごとの特性を踏まえた普通河川整備プログラムに基づき、河川改修等の浸水対策工事を実施するとともに、引き続き市民に身近な水辺環境の創出をより一層推進していく。

⑦水共生の取組の推進

・「京都市水共生プラン」及び「京都市河川整備方針」に基づき、市民の実感につながるよう、高瀬川再生プロジェクトをはじめとした河川改修や親水性のある水辺空間の整備、水共生学習会の実施と周知、雨水浸透施設及び貯留施設の設置などを引き続き推進する。

政策名	27	くらしの水			
指標名	主要管路の耐震適合性管の割合(%)				
担当部室	水道部		連絡先	672-7743	
1 指標の説明					
主要管路（導水管、送水管及び配水管（φ200mm以上））の総延長に対する耐震適合性のある主要管路の延長の割合					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
安全・安心な水を安定供給するための水道主要管路の耐震化状況を示す指標			算出方法：主要管路のうち耐震適合性のある管路延長÷主要管路総延長×100 出典：局独自に設定（事業担当課調べ）		
4 数値					
10年後(令和2年度)の目標値	令和元年度評価値	令和2年度目標値	根拠		
	52.8	—			
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値 数値	単年度目標値 根拠
数値	52.8	54.5	1.7ポイント増	54.0	上下水道局運営方針
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
		根拠			
数値	-	58.0	令和4年度	32.7%	京都市上下水道事業 中期経営プラン(2018-2022) ※改善度＝（最新数値-前年度数値）／（中長期目標数値-前年度数値）
5 評価基準					
最新数値と目標値を比較して a：目標値以上 b：目標値未満で改善度80%以上100%未満 c：目標値未満で改善度50%以上80%未満 d：目標値未満で改善度50%未満 e：現状維持					
6 基準説明					
目標値を上回る可能性もあるため、目標値以上を最高のaとし、目標値に達しなくても改善度によりそれぞれb, c, dに、現状維持であればeと設定した。 ※改善度＝（最新数値-前回数値）／（目標値-前回数値）×100					
7 評価結果					
平成30	令和元	令和2			
-	a	a			

指標名	雨水整備率（10年確率降雨対応）(%)				
担当部室	下水道部		連絡先	672-7839	
1 指標の説明					
事業計画区域面積に対する10年確率降雨対応浸水対策済区域面積の割合（大雨でも浸水がなく、安心して暮らせるまちにするため、10年確率降雨（62mm／時）に対応した浸水対策を進めている。）					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
大雨による浸水被害からまちを守る下水道事業（浸水対策）の進捗状況を示す指標			算出方法：浸水対策済区域面積÷公共下水道事業計画区域面積×100		
4 数値					
10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠		
	17.4	—			
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値 数値	単年度目標値 根拠
数値	28.6	29.2	0.6ポイント増	29.2	上下水道局運営方針
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
		根拠			
数値	-	33.0	令和4年度	13.6%	京都市上下水道事業 中期経営プラン(2018-2022)※達成度は改善度を記載＝（最新数値-平成30年度数値（28.6））／（中長期目標数値-平成30年度数値（28.6））
5 評価基準					
最新数値と目標値を比較して a：目標値以上 b：目標値未満で改善度80%以上100%未満 c：目標値未満で改善度50%以上80%未満 d：目標値未満で改善度50%未満 e：現状維持					
6 基準説明					
目標値を上回る可能性もあるため、目標値以上を最高のaとし、目標値に達しなくても改善度によりそれぞれb, c, dに、現状維持であればeと設定した。 ※改善度＝（最新数値-前回数値）／（目標値-前回数値）×100					
7 評価結果					
平成30	令和元	令和2			
a	a	a			

政策名	27	くらしの水					
指標名	合流式下水道改善率（％）						
担当部室	下水道部		連絡先	6 7 2－7 8 3 9			
1 指標の説明							
合流式区域面積に対する合流式下水道改善済面積の割合（汚水と雨水を同じ管路で排除する合流式下水道において、降雨時に河川へ流出する未処理下水やごみ等を削減する改善対策を実施し、良好な水質や景観を守る取組を推進している。）							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
雨の日に河川へ未処理下水やごみ等が流出するのを防ぐ下水道整備の状況を示す指標			算出方法：合流式下水道改善済面積÷合流式区域面積×100				
4 数値							
10年後（令和2年度）の目標値		令和元年度評価値	令和2年度目標値	根拠			
		66.2	—	—			
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値			
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度	
数値	66.2	66.2	増減なし	67.3	上下水道局運営方針	0%	
	全国順位	中長期目標			備考	・「6 基準説明」における評価の計算は以下のとおり 改善度（令和元年度） 0%＝（（66.2－66.2）／（67.3－66.2））×100	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	—	96.0	令和4年度	0%			京都市上下水道事業 中期経営プラン（2018-2022）※達成度は改善度を記載＝（最新数値-平成30年度数値（66.2））／（中長期目標数値-平成30年度数値（66.2））
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値と目標値を比較して a：目標値以上 b：目標値未満で改善度80%以上100%未満 c：目標値未満で改善度50%以上80%未満 d：目標値未満で改善度50%未満 e：現状維持			目標値を上回る可能性もあるため、目標値以上を最高のaとし、目標値に達しなくても改善度によりそれぞれb、c、dに、現状維持であればeと設定した。※改善度＝（最新数値-前回数値）／（目標値-前回数値）×100		平成30 令和元 令和2		
					- a e		

指標名	平成16年記録的豪雨時の河川浸水被害箇所解消率（％）						
担当部室	土木管理部		連絡先	2 2 2－3 5 9 1			
1 指標の説明							
平成16年の記録的豪雨の際に河川からの溢水による浸水被害があった河川の改修実施率							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
浸水被害の低減に向けた河川の整備状況を示す指標			算出方法：H16浸水被害河川整備延長÷H16浸水被害河川計画延長×100 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
10年後（令和2年度）の目標値		平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠			
		87.6	100.0	100%の達成を目指す。			
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値			
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度	
数値	95.5	95.8	0.3ポイント増	97.7	中長期目標までの残年数内に目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	98.1%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	—	100.0	令和2年度	95.8%			平成16年度浸水被害発生河川における中長期目標年度の目標改修率
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新値をx、（単年度目標値-前回値）をyとしたとき、 a：単年度目標値≤x b：前回値+y*2/3≤x<単年度目標値 c：前回値+y*1/3≤x<前回値+y*2/3 d：前回値<x<前回値+y*1/3 e：x=前回値			目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が高いことから、単年度目標値以上の達成をaとし、5段階に基準を設定した。		平成30 令和元 令和2		
					a b d		

政策名	27	くらしの水					
指標名	水共生の取組の進捗率（レーダーチャート面積）（％）						
担当部室	土木管理部		連絡先	2 2 2－3 5 9 1			
1 指標の説明							
水に関する取組の目標進捗率							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
水共生の取組の進捗状況を示す指標			算出方法：施策「水共生の取組」の5つの客観指標の進捗率をレーダーチャートに変換し、目標進捗率に対する面積比で算出 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
10年後（令和2年度）の目標値		平成29年度評価値	令和2年度目標値	根拠			
		163.9	205.1	100%の達成を目指す。			
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	数値	単年度目標値 根拠	達成度	
数値	188.3	191.9	3.6ポイント増	194.0	各指標の当該年度の目標進捗率をレーダーチャートに変換したときの面積	98.9%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-			-			
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			100%以上の達成をaとし、20%刻みで等間隔に基準を設定した。		平成30	令和元	令和2
					a	a	b

指標名	異臭（かび臭）のない水達成率（％）						
担当部室	技術監理室		連絡先	7 7 1－5 3 8 0			
1 指標の説明							
水道水におけるカビ臭原因物質（※）濃度（実績値）が水安全計画の管理目標値（5ng/L）に対する適合割合 ※ジェオスミン及び2-メチルイソボルネオール							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
水道水のおいしさを示す1つの指標で、高い方がよい。			算出方法：カビ臭物質濃度が管理目標以下となる回数÷浄水場における全給水検査回数×100				
4 数値							
10年後（令和2年度）の目標値		令和元年度評価値	令和2年度目標値	根拠			
		100.0	100.0	京都市上下水道事業中期経営プラン（2018-2022）			
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	数値	単年度目標値 根拠	達成度	
数値	100.0	100.0	増減なし	100.0	上下水道局運営方針	100.0%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	100	令和4年度	100.0%			京都市上下水道事業 中期経営プラン（2018-2022）（最新数値／中長期目標数値）
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100% b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満			達成度100%をa評価とし、以下10%刻みに基準を設定した。		平成30	令和元	令和2
					-	a	a

政策名	27	くらしの水				
指標名	高度処理管理目標水質達成率（％）					
担当部室	技術監理室		連絡先	6 9 1－8 5 4 5		
1 指標の説明						
下水の高度処理※1を導入している全系列において、窒素及びりん濃度が管理目標値※2以下となった系列の割合 ※1 標準活性汚泥法では除去できない窒素及びりんを除去できる処理方法 ※2 処理水における窒素及びりん濃度に係る、法定基準より厳しい水質管理目標値						
2 指標の意味						
富栄養化の原因となる窒素及びりんを除去できる高度処理施設について、その水質管理が適切であったかを示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：（管理目標値を下回った系列数／全高度処理系列数）×100（％）						
4 数値						
10年後（令和2年度）の目標値	令和元年度評価値	令和2年度目標値	根拠			
	100.0	100.0	京都市上下水道事業中期経営プラン（2018-2022）			
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	100.0	100.0	増減なし	100.0	上下水道局運営方針	100.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	100.0	令和4年度	100.0%	京都市上下水道事業 中期経営プラン（2018-2022）（最新数値／中長期目標数値）	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100% b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
達成度100%をa評価とし、以下10%刻みに基準を設定した。						
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
-	a	a				